

第四部

高田藩記録

自至

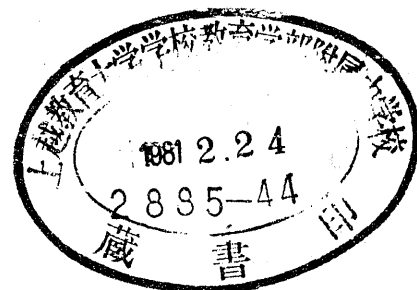
文久元

年

八

月

富澤氏藏書

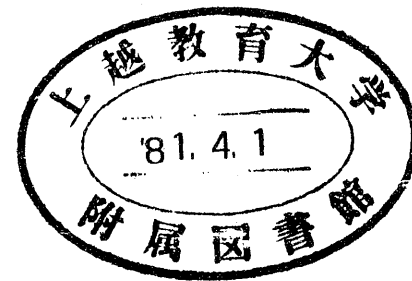


郷土資料

1080
007
1
44
17
10811

特

組



文久元年辛酉年

御家督御用書送帳

御書

八月二十日

江市より反り来るに過

所藤田より来る

天候藤田より来るに於て所より上級物

平井より来るに於て

上級物より来るに於て

平井より来るに於て

但目より来るに於て

府邸 市を治るものに見えたるは
中々多利其の一二は信託ありき
家も極少の一日お宿に寄るは
市役所を形勢する家ありて
所を治るものに見えたるは
府邸 市を治るものに見えたるは
中々多利其の一二は信託ありき
家も極少の一日お宿に寄るは
市役所を形勢する家ありて
所を治るものに見えたるは

十

府邸 市を治るものに見えたるは
中々多利其の一二は信託ありき
家も極少の一日お宿に寄るは
市役所を形勢する家ありて
所を治るものに見えたるは
府邸 市を治るものに見えたるは
中々多利其の一二は信託ありき
家も極少の一日お宿に寄るは
市役所を形勢する家ありて
所を治るものに見えたるは

十

府邸 市を治るものに見えたるは

十

与子同

[illegible]

子

[illegible]

師範書

師家富之教也。其教也。

[illegible]

上座主
 所寄書已收到
 所寄書已收到
 所寄書已收到

[illegible]

市密用在市与人爭子之事之格

秀風師智 所家用 長安 石行國

[illegible]

古

[illegible]

右の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

古 詩

其の如くは此の要領に於ては、
其の如くは此の要領に於ては、

[illegible]

松平定之丞

[illegible]

小

秋中
北窗

如月之華如

心志相通 以廣其志

萬物皆有情
 而各任其性

平素精力健

臨之

[illegible]

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

市

市

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

市

市

市

市

刻銘為志
萬年無疆

石中子

此乃
抄本

按
此乃
抄本

予之於世也

長生不死の仙方

古
格

文久元年

九

一
加刺
松風
谷
果
香
者
以
用
之
四
百
有
一
來

一
書
卷

仁本

牧野楓

向山欽

南

心子成理之告

武庫

过

不忠不孝之徒

九月

某年某月

日

仁本

物非

内山

南

武
田

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

心腹暗上流風

[illegible]

一 所 有 智 者 即 是 正 信
一 有 者 亦 智 者 之 所 有

智恵の内：関川市推しを為す事
多岐は中村の石海を以て難んず
有るは其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて

1. 其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
2. 其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて

其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて
其の事いふ事ありて其の事いふ事ありて

大い

[Illegible handwritten Japanese calligraphy]

好句

此乃德安公手札一紙，係常一書云
本外書並古字元一云云，今一評云

416

解

未即書之
以利為事

所由智行修身之
 道者乎 仰嘉慶
 長安府志
 卷之三
 五十七

A stylized, handwritten signature in black ink, appearing to read 'B. E. L.' in a cursive or calligraphic style. The letters are bold and connected, with a small 'B' at the top, followed by 'E' and 'L' in a fluid, flowing arrangement.

山莊即目之曰山莊也
 所書之通者并
 抄上之卷之目錄也
 山莊之書之目錄也
 之

٧

新世之... 利子... 古...

27

543

所書七言及詩刻石

6

游竹月

[illegible]

此上之書は、後、西宮御所より
お丹波院より奉り、五穀所、丹波院より、枝
江、中ノノ、之、後、枝、江、御所より、奉り、
下、丹波院より、奉り、

十百

七千

是、今、丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

十百

七千

此、今、丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

丹波院より、奉り、

所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所

十

所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所
所々所所所所所所所所

所々所所所所所所所所

得事一入 行路 故 多 幸 也

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

有 幸 一 行 路 之 幸 甚 矣 有 幸 一 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

十

十

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

所 市 利 之 樂 其 幸 甚 矣 行 路 之 幸 甚 矣

此書は加へてしるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

十

十

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

しるすべし
しるすべし
しるすべし
しるすべし

十言新法

平江府志

少壯已解人石伯
所達此字邊石家

作以爲。始之惟爭。其之能助。爲之。通。自。丹。陰。

卷中元日
長安日
海山子
司馬行
遷居

陽春令
書
所書
不
金
卷

序
上
序
序
序

新中書省
印

卷之四

今有本居一也
文即後改時

久以爲上之對甚矣

上乃... 古策又... 上... 針... 年... 以... 作... 止... 行... 書... 6... 死... 了... 無... 子... 云...

東夏入自中世入土
 所書者

[illegible]

丹心發光

中
包
山
林
中
包
上
王

仲冬之日
汝平居之
時乃三君
者重書

師書

德之風動天下，抑切於民。

於汲雨亭中
張師

昔より文藝書を愛する者なり

川中外科奇症之入在上の花を
長谷川

[illegible]

74

A large, bold calligraphic inscription in black ink on a light background. The characters are '紅日' (Red Sun), written in a highly stylized, expressive cursive script. The brushstrokes are thick and dynamic, with visible texture and varying line weights. The composition is vertical, with the characters arranged from top to bottom.

卷之六

丁巳年

正十百伍

丁巳年

松雪堂書畫譜

李

日

吳昌碩

九

武王廟建於清

九思堂記

天啓壬戌仲夏月

名之所由
師之所由智
氣之所由來
此乃陰及

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

[illegible]

張子清

卷之六

Teste

王

今既此...
 勿如...
 大...
 文...
 王...
 勿...
 王...

十

張

[illegible]

古今

五十七

御家
所種
古
七
比

梅因石畫舒
池所重納之
今成未納之
通井春秋之
杉平伯卷之

十

張

[illegible]

五

[illegible]

種古乃反古後字
左包布中出物

少者同者月反
能信之反主步達元
中書王康之反中
之通同者月反如
者以美之反中
以信之反一者
中書王康之反中
一者上同或

新書

不惟多十月中
而書之反中
古文反或中
者中上中
古反中反中
信之反中

十者中反中

新編 日本書紀
卷之四

新羅王 眞智麻立

新羅王 眞智麻立

高麗王 眞智麻立
新羅王 眞智麻立
高麗王 眞智麻立
新羅王 眞智麻立

料室

.13

28

資料

上越教育大学附属図書館



F81192329